



crossing cafe



Vol.18

2025.1.1

発行:スペースベン
毎月1日 341部発行
(webでも配信中)
<https://bit.ly/3U8Ldnl>

TOPIC

シニア・ジュニア演劇塾 第12回 うみねこ演劇塾 発表会

〈第1部 シニア塾〉

南部昔コより
「ぱ～ぽぱ～ぽぱっぽっぽ～♪」
構成・演出/ 梶谷伸夫
4つのお話によるオムニバス舞台

〈第2部 ジュニア塾〉

ミュージカル
「ウーとスー」～仲良しになるために～
[公社]八戸青年会議所制作 絵本「ウーとスー」より
原作/大西美佳 作・演出/梶谷伸夫
助演出/木下勝貴
音楽/嵯峨昭彦
振付/沢上りんか・佐々木詠(ONE MOVE)
歌唱指導/玉山緑&八戸東高演劇部有志



2025年 1月11日(土)
12:45開場 13:30開演

【会場】SG GROUP ホールはちのへ
(八戸市公民館ホール)

チケット完売 ※当日券の取扱い無し

〈お問い合わせ〉
SG GROUP ホールはちのへ(八戸市公民館)
☎0178-45-1511

〈theater information〉



無料映画上映会
「じよっぱり」看護の人 花田ミキ
【日時】2025.1.19(日)
14:00開場 14:30開演
【場所】SG GROUP ホールはちのへ
(八戸市公民館ホール)
【料金】無料/先着300名。申込不要
【主催】国際ロータリー第2830地区
DEI推進委員会・ポリオプラス委員会
【問合せ】国際ロータリー第2830地区
地区事務所 ☎017-732-2830
伝説の看護の人 花田ミキ 看護に命を
かけた波乱万丈の生きざま



青森県立美術館版
バレエ「アレコ」上映会
【日時】2025.1.12(日)
14:00開場 14:30開演
(16:30終了予定)
※受付は開場15分前から
【場所】八戸ポータルミュージアム
はっち シアター2
〈第1部〉14:30-15:40
青森県立美術館版バレエ「アレコ」映像上映
〈第2部〉15:50-16:30
出演ダンサー、大川航矢・勅使河原綾乃
北爪弘史によるトークショー
【料金】1,000円(税込)※高校生以下無料
※先着順。定員になり次第、締切
【申込】青森県立美術館ホームページの
専用フォームから



<https://www.aomori-museum.jp/schedule/15516/>
【問合せ】青森県立美術館
パフォーミングアーツ推進実行委員会 事務局
☎017-783-3000
(受付時間 平日9:00-17:00)
E-mail:aleko@aomori-museum.jp
2024年11月に公演された青森県立美術館版バレエ「アレコ」の映像上映会。出演ダンサー3名によるトークショーも開催。

〈スペースベン 1月の予定〉

FANS 予定 第1613～1617回

毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。
一般前売500円/大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増)

「だべり場」「かたり場」「ほだれ場」随時開催しています
■1/3(金) 勝手に新年会 19:30-21:00予定

〈Dance Lesson〉

- 毎週火曜日 20:15-21:45/KAZU HIPHOP DANCE SCHOOL
- 最終水曜日 19:30-20:30/SEGA HIPHOP
- 毎週土曜日 16:30-18:00/BRE FAM HOUSE DANCE HARUクラス

〈古典戯曲を味わう会〉

国内外の古典戯曲から参加者で選んだ作品を読み、楽しむ企画です。
■1月は第2・4水曜日(通常毎月第1・3水曜日開催) 14:00-15:30予定
※バーナード・ショー「ピグマリオン」を予定
※参加費¥100。Zoomにて開催中。日時等変更になる場合があります。

〈Free Column〉

劇場の 片隅から

文/まれ ゆう
～日記から～

なんだかなあ、国内も国外も最近物騒なニュースが多い感じ…。子どもが犠牲になった話を聞くと、特に心が痛むわ…。年末になるとみんな気持ちが苛立つんだろうか…。そんな人ばかりじゃないと思うんだけどなあ。クリスマスも近づいてきて、子どもたちはプレゼントの期待に胸を膨らませているころ。みんな幸せに過ごしてほしいよなあ。いろんな思いがあっても、心おだやかに、幸せな気持ちで年を越してほしい。なにはともあれ、戦争もいじめも早くなくなってほしいと祈るばかりです。

特別寄稿

短々面 ～お歳暮には激辛短々面だべさ～

師走迎えるペンスタにて短々面は賑やかに

文/佐藤 拓之
(フォーチュンシアター)



田中稔「プレゼント」



「モンブラン」植田祐介



「69対1」沼田仁



「土曜日」外館暢子



「プライド」中田優鈴



「和金」加藤健太郎



「おいてけぼり」野沢亜由美

11月29日18時観劇。八戸ペンスタにて。師走に入ろうとしている週末。多くの観客だ。30人程だろうか、客層は年輩客多め。だがその中でも若者が数人。開演前の客席の雑音が心地良い。雰囲気よし。大黒屋が主催する短々面は一人芝居のオムニバスで構成されている。一人芝居を役者がやるのは生半可では無い。成功も失敗もおのれ次第。何があっても誰も助けてはくれない。客の前で頼れるのはおのれ1人しかいないのだ。情報は生身一つの役者1人。客の視線は自分へと。緊張しない訳がない。そんな場所に役者を誘う大黒屋恐るべし。

さて今回の構成は俳優7人。最初は田中稔の「プレゼント」。師走のベンチでなにやらぶつぶつと通行人にちょっかいを出す謎の男。先に正体をバラすと彼は「雪だるま」。そんな彼に優しく接してくれる女性が1人。彼女は男に身の上話を話し始める。お話が進んでいくと彼の正体が徐々にわかってくる構成。雪だるまの思い出。北国の人間なら何個かエピソードを持っているのでは。いつかは溶けてしまう雪だるま。儂い刹那の交流にほっこり。田中の風貌にもほっこり。

植田祐介の「モンブラン」は今あまり使われなくなった「万年筆」がモチーフ。手紙の良さが見直されている昨今。そんな手書きの良さを若い子に熱弁する中年を植田が好演。関西弁も良きアクセントに。そんな彼が最後奥さんにLINEするオチもよし。

沼田仁の「69対1」は「会えなくなった我が子」と遊園地に行くお話。実は無断で子供を連れてきた為、彼女は逮捕されるのだが、不思議なのはタイトル。なんの点数だろう?と置いていたらサッカーワールドカップの日本対フランスの点数であった。日本の勝ちを匂わせているが、どちらにせよサッカーではありえない点数。女性と子供との交わる未来はありえないのか。そんな暗示のようで悲しい。沼田の女装愛嬌ありよし。

加藤健太郎の「和金」は金魚売りのお話。私は仙台出身だが、昭和50年代すでに金魚売りはいなかった。ただ掛け声だけが漫画やアニメやコントに残っていたのを思い出す。そんな今は失われた文化を垣間見られるのも演劇の良さ。加藤を拝見するのは2回目だが上半身裸であった。裸芸。潔ぎよし。

中田優鈴「プライド」は食べ物の好き嫌いをモチーフにした物語。プライドも好き嫌いも十人十色。中田は初一人芝居で緊張していたがやり切った。彼女のような若い役者がチャレンジすることに意味がある。よし。

野沢亜由美の「おいてけぼり」は昔の女性の心理を描写したお話。結婚適齢期においてけぼりは嫌だ。これは今でもそうなのだろうか?身体性を生かした野沢の演出もよし。

外館暢子の「土曜日」は夢オチもの。夢オチもそうだが、夢の中に出てくるタイムマシンは昭和世代の大好物だ。可愛くも女は死ぬまで女だと、男性の大黒屋が書いてるのが面白い。外館は愛嬌ある女性を演じていた。よし。

大黒屋の視点は「今は失われつつある懐かしきモノ」に向けられている。演劇というジャンルがそうならないよう大黒屋にはこれからも短々面を継続してもらいたい。LOVE。



「短々面」
お歳暮には激辛短々面だべさ
2024.1.29(金)
スペースベン

●筆者近況

昨年は八戸で、念願のインプロ公演を打つことができませんでした。2025年も八戸で活動していきますので、八戸の皆様何卒よろしくお付き合いの程をよろしく願います。お正月はおせち食べながら飲んだくれております。迎春 謹賀新年

FANSで上演・LIVEをやってみませんか?

ジャンルは問いませんので、まずはお気軽にご相談ください



Director

田中 勉

〒031-0081 八戸市柏崎1-11-8
mobile 080(6025)0990 Fax.050(3588)8350
e-mail owner@spaceben.com

<https://spaceben.com/>

crossingcafe fanscross crossingcafe crossingcafe YouTube @fanscafe



FANSってなんだ!?

小劇場「スペースベン」にて、毎週金曜日の夜7時30分から、約30分の芝居を楽しんでいただく企画です。芝居に限らずライブ・ダンス等、ジャンルの枠にとらわれず、金曜日の夜には“ここで何かおもしろい事をやっている”という場になればと思います。なお、料金は特別番組以外全て前売り500円、学生は200円です(当日100円増し)。上演の場を求めている方、刺激を求めているあなた、ご連絡お待ちしております。